

# 人口減少社会の課題と展望

## — AIがもたらす未来社会 —

旧大阪商科大学の伝統を受け継ぐ大阪市立大学経済学部は、昭和24(1949)年に創立され、本年創立70周年を迎えました。経友会は平成9(1997)年に設立され、これまで平成11年学部創立50周年、平成21年60周年には経済学部と共同してその時代の世界の潮流や日本社会の課題などを考察するシンポジウムを開催しました。そして、本年も創立70周年を迎えるにあたり経済学部の協力を得て記念シンポジウムの共催を計画しました。

今日の日本社会においては、世界に例を見ない急速な人口の高齢化、少子化が進行し、生産人口の減少のためすでに農林水産業、商工業など主要産業や、流通、建設、医療・介護など社会インフラを形成する分野で現場の人材不足が生じています。そのため、今後、日本社会は外国人労働者の受け入れを増やさなければ成り立たないとの意見があります。

一方、人工知能(AI)の出現は、ロボット技術の進展ともあいまって単に労働力不足を補うだけでなく、高度の判断能力によるビッグデータの解析と活用によって、新たな産業革命を起こし、社会システムを一変するとの意見もあります。

こうした状況を踏まえて、『ハゲタカ』シリーズの著者として知られる小説家の真山 仁氏を基調講演者に、また各界の有識者をお招きして、「人口減少社会の課題と展望—AIがもたらす未来社会—」をテーマにシンポジウムを開催します。日本の産業経済をはじめ社会文化の発展の方向性や可能性を考察して将来のあるべき姿を模索し、社会に発信したいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

**日時** 令和元年10月12日(土)午後1時30分～5時10分 (午後1時受付開始)

**会場** 大阪市中央公会堂3階 中集会室 (大阪市北区中之島1-1-27)  
会館南側の入口(地階レストラン前の西側)をご利用ください。

参加費  
無料

### シンポジウム

**基調講演** 小説家 真山 仁 (敬称略)  
演題 「AI社会」とどう向き合うか」

**パネリスト** (株)SERIOホールディングス 代表取締役社長 若浜 久  
(株)ミライロ 代表取締役社長 垣内 俊哉  
大阪市立大学大学院経営学研究科・商学部准教授 松永 桂子  
大阪市立大学大学院経済学研究科・経済学部准教授 齋藤 幸平

**コーディネーター**  
大阪市立大学大学院経済学研究科・経済学部教授 福原 宏幸



**最寄り駅**  
◇大阪メトロ・京阪電鉄「淀屋橋」下車 ①番出口  
◇大阪シティバス「淀屋橋」下車 徒歩3分

**懇親会** 午後5時30分～7時

**会場** 地階レストラン「AWAKE」 **参加費** 3,000円(費用の一部を経友会から助成しています。)

**主催** 大阪市立大学経友会・大阪市立大学経済学部

# プロフィール

(敬称略)



**真山 仁**  
(まやま じん)

大阪府出身  
小説家  
同志社大学卒業

1962年大阪府生まれ。新聞記者、フリーライターを経て2004年『ハゲタカ』でデビュー。「ハゲタカ」シリーズのほか、日本の食と農業に斬り込んだ『黙示』、被災地の小学校を舞台にした連作短編集『そして、星の輝く夜がくる』『海は見えるか』、カジノと地方再生をテーマにした『バラ色の未来』、東京地検特捜部の富永検事シリーズ『売国』『標的』、日本最強の当選請負人が主人公、選挙の裏側にスポットを当てた『当確師』、日本の財政破綻問題に斬り込んだ『オペレーションZ』など著書多数。



**松永 桂子**  
(まつなが けいこ)

京都府出身  
大阪市立大学大学院経営学研究科  
・商学部准教授  
同大学院経済学研究科 博士  
日本地域経済学会などに所属

地域経済を専門としています。大学院の後、島根県の大学に就職したのがきっかけで「地方」の人口減少問題に関心を持つようになりました。その後、一転して「都市」をコンセプトにする本学創造都市研究科にて社会人大学院を担当しました。現在は商学部在籍していますが、これまでの経験から「都市」と「地方」、両方の事情に精通する研究者でありたいと思っています。著書に『創造的地域社会』『ローカル志向の時代』など。毎日新聞に「時事ウオッチ」を連載中です。



**若浜 久**  
(わかばま ひさし)

島根県松江市出身  
(株)SERIOホールディングス  
代表取締役社長  
島根県立松江東高校卒業  
一般社団法人  
全国保育連盟副理事長

人材派遣会社に13年間勤めた後、2005年に株式会社セリオを創業。仕事と家庭の両立応援を経営理念とし、家庭を持つ女性を主な対象としてパートタイム型派遣モデルを構築し展開中。その後、小学生を対象とした学童クラブ及び保育園の事業へ参入し、現在、子育て関連施設を全国で156施設(2019年6月3日現在)運営。2018年3月東証マザーズに上場。



**齋藤 幸平**  
(さいとう こうへい)

東京都出身  
大阪市立大学大学院経済学研究科  
・経済学部准教授  
フンボルト大学哲学科 博士  
経済理論学会に所属

マルクスは古い、時代遅れだと繰り返しながらも、現代社会の困難を乗り越えるためにはやはりマルクスしかない信じて、日々研究と実践に励んでいます。専門としての興味は環境問題ですが、AIやオートメーション化も「ブルシットジョブ」と労働からの解放を考えるうえで重要なテーマだと思っています。



**垣内 俊哉**  
(かきうち としや)

岐阜県中津川市出身  
1989年生まれ。  
(株)ミライロ 代表取締役社長  
2012年立命館大学経営学部卒業  
日本ユニバーサルマナー協会  
代表理事、東京オリンピック・  
パラリンピック競技大会組織  
委員会アドバイザー

障害を価値に変える「バリアバリュー」を提唱し、大学在学中に株式会社ミライロを設立。高齢者や障害者など誰もが快適なユニバーサルデザインの事業を開始、障害のある当事者視点を採り入れた設計監修・製品開発・教育研修を提供しています。



**福原 宏幸**  
(ふくはら ひろゆき)

兵庫県出身  
大阪市立大学大学院経済学研究科  
・経済学部教授  
同大学院経済学研究科 博士  
社会政策学会、社会福祉学会  
などに所属

1990年代に登場した新しい概念「社会的排除/包摂」に着目して、日本における不安定雇用・貧困・社会的孤立などの実態を調査し、あわせてこれらの解決策や社会のあり方を研究しています。また、欧州の同様の問題に関する共同研究を行っています。